

令和7年度 神代中学校 家庭科 1学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、それを次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに身を付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表からの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実う。

2. 評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し倉している。

3. 1学年の目標

① 今までの自分を振り返り、人との関わりを考えることができる。

② 衣服の選択と着用、手入れについて学び、自分の衣生活を工夫して実践できるようにする。

③ 暮らすために必要な住居の機能と安全で心地よい室内条件について学び、よりよい住まい方の工夫を考えることができる。

④ 布を用いた物の制作を行い、生活を豊かにするための工夫ができるようになる。

4. 指導計画・評価計画表

月	指導内容	観点・評価規準		
		【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
4	【家庭分野ガイダンス】(1時間)	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・共同して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		・3年間の家庭分野の授業で自分が身につけたことや、知りたいことについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
5	【衣服のはたらきと手入れ】(6時間) (1)どうして衣服を着るのだろう (2)衣服は何でできているのか (3)衣服の手入れ (4)洗濯をしてみよう	・衣服の社会生活上の機能について理解する。 ・自分の個性について考える機会をもち、理解する。 ・既製服の表示と選択に当たっての注意点を理解する。 ・既製服の表示や縫製などについて調べ適切に選択できる。 ・綿、毛、ポリエステルなどの手入れに関わる性質について理解する。 ・洗濯の方法と特徴について理解する。 ・補修の目的と布地に適した手入れ方法がわかる。 ・環境に優しい洗濯について理解し、環境に配慮して洗濯を行うことができる。	・目的に応じた着用をすることが大切であることを考え、工夫する。 ・衣服の役割を踏まえながら、個性を生かす着用について工夫する。	・衣服と社会生活との関わりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとする。 ・個性を生かす着用について興味を持って進んで考えようとする。
6	(5)補修や収納・保管			
7	【衣服の選択と着方】(4時間) (1)衣服が必要になったとき (2)既製服の選び方 (3)自分らしい着方 (4)和服文化にふれてみよう		・日常着の計画的な活用について考え、工夫する。 ・着られなくなった衣類や普段活用されていない衣類の有効活用について工夫する。 ・日常着の手入れについてどのようにしたらよいかを考え、工夫しながら取り組む。 ・環境に配慮した洗濯の工夫について考える。	・日常着の計画的な活用に関心をもって学習活動に取り組もうとしている。 ・既製服を購入するときのポイントについて意欲的に考えようとしている。 ・衣服材料に応じた日常着の手入れについてや、衣服の補修について関心をもって学習活動に取り組もうとしている。
9	【生活を豊かにする物の製作】(15時間)			
10	(1)布を用いた物の制作	・身に付けた技術を生かし、安全で効率よく作品の製作をすることができる。	・工夫して作品を製作することができる。	・今までの学習を振り返り、布を用いた物の製作に関心をもって取り組んでいる。
11	(2)基礎縫いプレッスンキット (3)基礎縫いブックカバー 【持続可能な衣生活】(1時間)			

12	(1)環境に配慮した衣生活		・衣生活と資源や環境とのかかわりから問題を見出し、課題を設定している。	
	【衣生活】(8時間)			
1	(1)人間にとっての住まい	・住居の機能と安全で快適な室内環境の条件を理解している。	・よりよい住み方ができるように、自分なりの工夫をしたり考えたりしている。	・家族が住むために必要な住居の機能について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。
	(2)生活に必要な住生活	・汚れの種類を知り、それに適した掃除を行うことができる。	・非常時の備えや学校内の安全点検などの学習を通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。	・安全で快適な室内環境について理解し、関心を持ち、整え方や住まい方の課題を自分で見つけて取り組もうとしている。
2	(3)自然とともにある住生活			
3	(4)安全で健康的な住生活			
	(5)持続可能な住生活			

創造する資質・能力

、それらに係る技能

を顕現するなど、これ

を通じて実践的な態度を養

えられ、それらに係る技能を

観察したことを論理的

に考察し、実践しようと

評価資料

- ・授業に対する取り組み
- ・プリント

- ・授業に対する取り組み
 - ・プリント
 - ・提出物
 - ・作品
- ・定期テスト

- ・授業に対する取り組み
- ・作品
- ・製作記録カード

・プリント

- ・授業に対する取り組み
- ・プリント
- ・提出物
- ・定期テスト